

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ
フリーダイヤル  0120-112-140
受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)
保証書で以下内容をご確認頂くと、スムーズな対応ができます。
お買い上げ日、販売店名、製品型名

警告

- 車体に穴を開けたり取り付ける場合は、パイプ、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することないように注意する・・・
パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめておく・・・
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない・・・
電源コードの電圧容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用してアースを取ると、ステアリングやシートレール、ブレーキ系統などの重要保安配線のネジは使用しない・・・
事故や故障などの原因となります。
- エアバッグ装着時に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しない・・・
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行う・・・
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

1. Front cover (with camera lens and flash)
 2. Screws (two)
 3. Front cover (without camera lens and flash)
 4. Camera lens and flash assembly

マイク
コードホルダー

マイクプラグ
(ナビに接続する)

マイク
コードホルダー

① フロントウインドウ（内側）のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、付属のクリーナーで拭いて十分に汚れを落とすて乾かしてください。

- 貼付面が完全に乾いていない状態で貼り付かぬおそれがあります。フィルムアンテナ・アンプホルダーを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- フィルムアンテナ・アンプホルダーを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ・アンプホルダー自体も暖めてください。

貼り付け位置について

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、下図の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。（左右逆に貼り付けてないでください。）
- アンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
- アンテナは、ETC受光部、他のTVアンテナなどから20mm以上離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けてないでください。ショートなど、故障の原因となります。

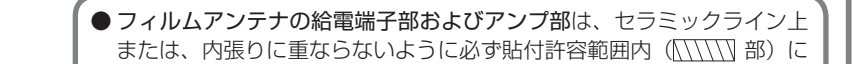
貼り付け手順

本紙は左側（フロントビラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

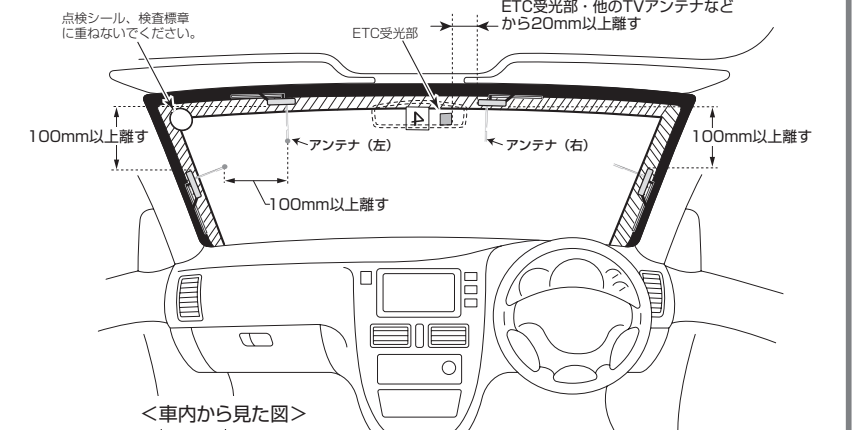
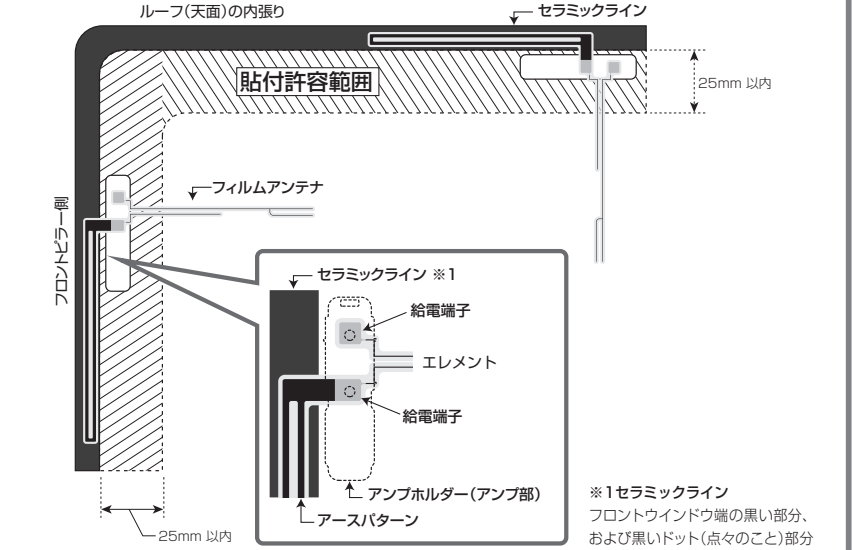
2 フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼付位置を決める

- 1 フィルムアンテナ・アンプホルダーの貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- 2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンプホルダーを仮固定し、車内の内張り（フロントビラーなど）に当たらないことを確認してください。
- 3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

■貼付許容範囲

- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン上または、内張りに乗らないように必ず貼付許容範囲内（）に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

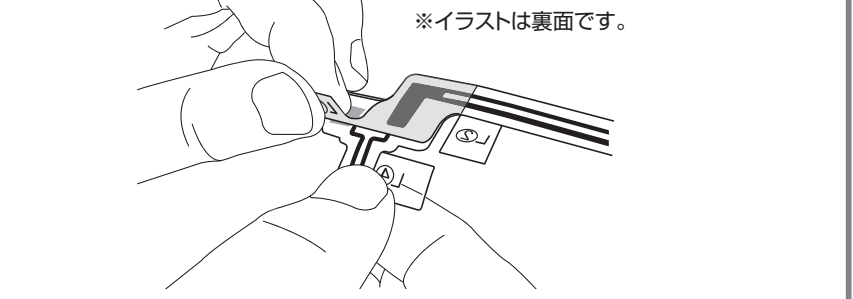
- ご注意**
- ・フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。



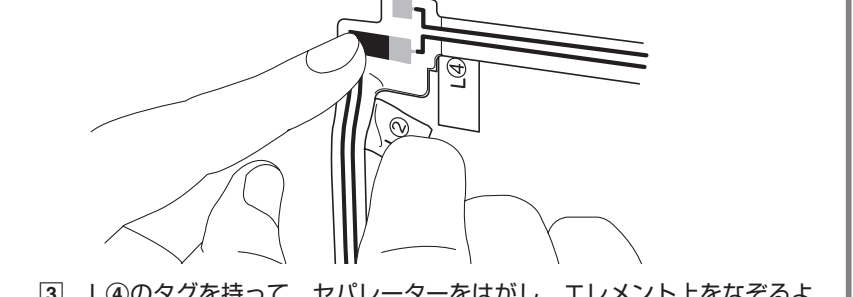
3 フィルムアンテナを貼り付ける

- 1 L①のタグを持って、セパレーターをはがし、決めた位置に貼り付けてください。

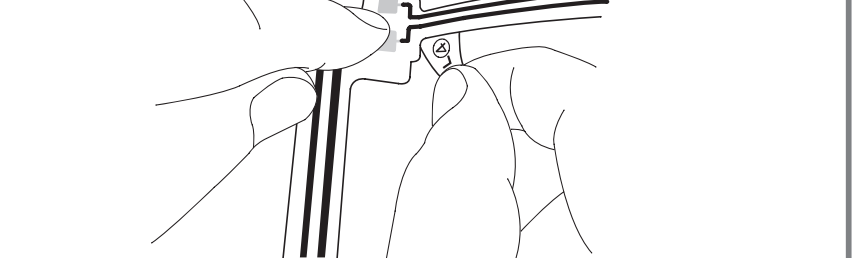
- ご注意**
- ・フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損するおそれがあるためお止めください。
 - ・本品は、ドライ貼付タイプとなっているため、霧吹きなどで吹き付けて貼り付けしないようにお願いします。



- 2 L②L③の順にタグを持って、セパレーターをはがし、アースパターン上をなぞるように指で軽くこすってください。



- 3 L④のタグを持って、セパレーターをはがし、エレメント上をなぞるように指で軽くこすってください。



- 4 最後にフィルムアンテナ全体をなぞるようにやわらかい布などを使用して、ガラス面に密着させてください。

- ご注意**
- ・加圧が不足していると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。また、樹脂ヘラを使用する場合、エレメントを傷つけないよう十分注意して作業を行ってください。

4 透明フィルムをはがす

- 1 L⑤のタグを持って、透明フィルムをはがしてください。フィルムアンテナが貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にはがしてください。

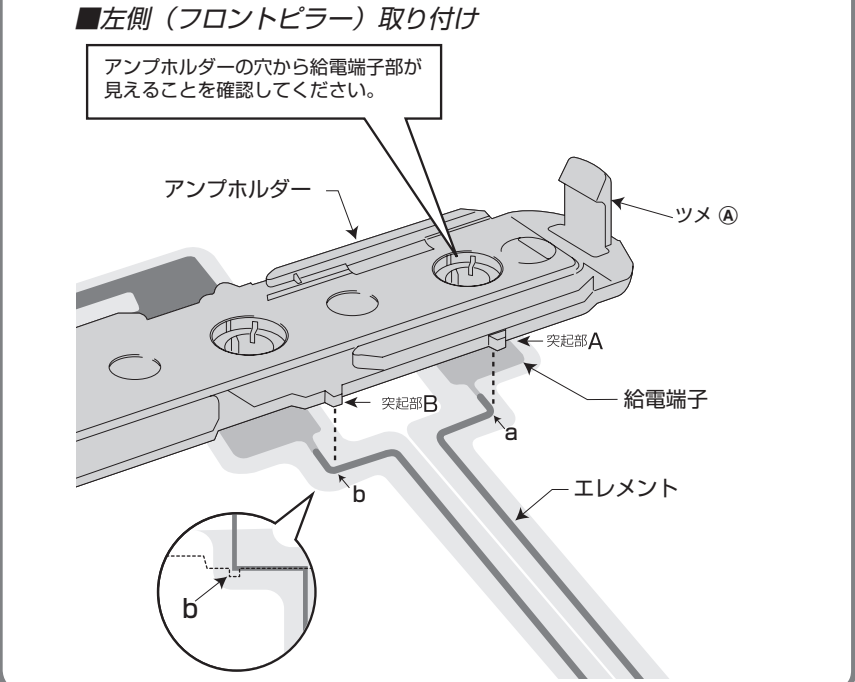
- ご注意**
- ・透明フィルムをはがした後は、給電端子に手を触れないでください。汗などの汚れで接触不良の原因となります。

5 アンプホルダーを給電端子部に貼り付ける

- ご注意**
- ・アンプホルダーの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損するおそれがあるためお止めください。
 - ・貼り付ける前にアンプホルダーの向きに注意してください。下図のイラストを確認してから貼り付けてください。

- 1 アンプホルダー裏面のはくり紙をはがしてください。
 - 2 給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
- ・アンプホルダーにある突起A、Bとエレメントのa、bが重なるよう平行にアンプホルダーを貼り付けます。

- ご注意**
- ・浮きがないように強く押し付けてください。また、フロントガラス外側からガラス面に密着されていることを確認してください。

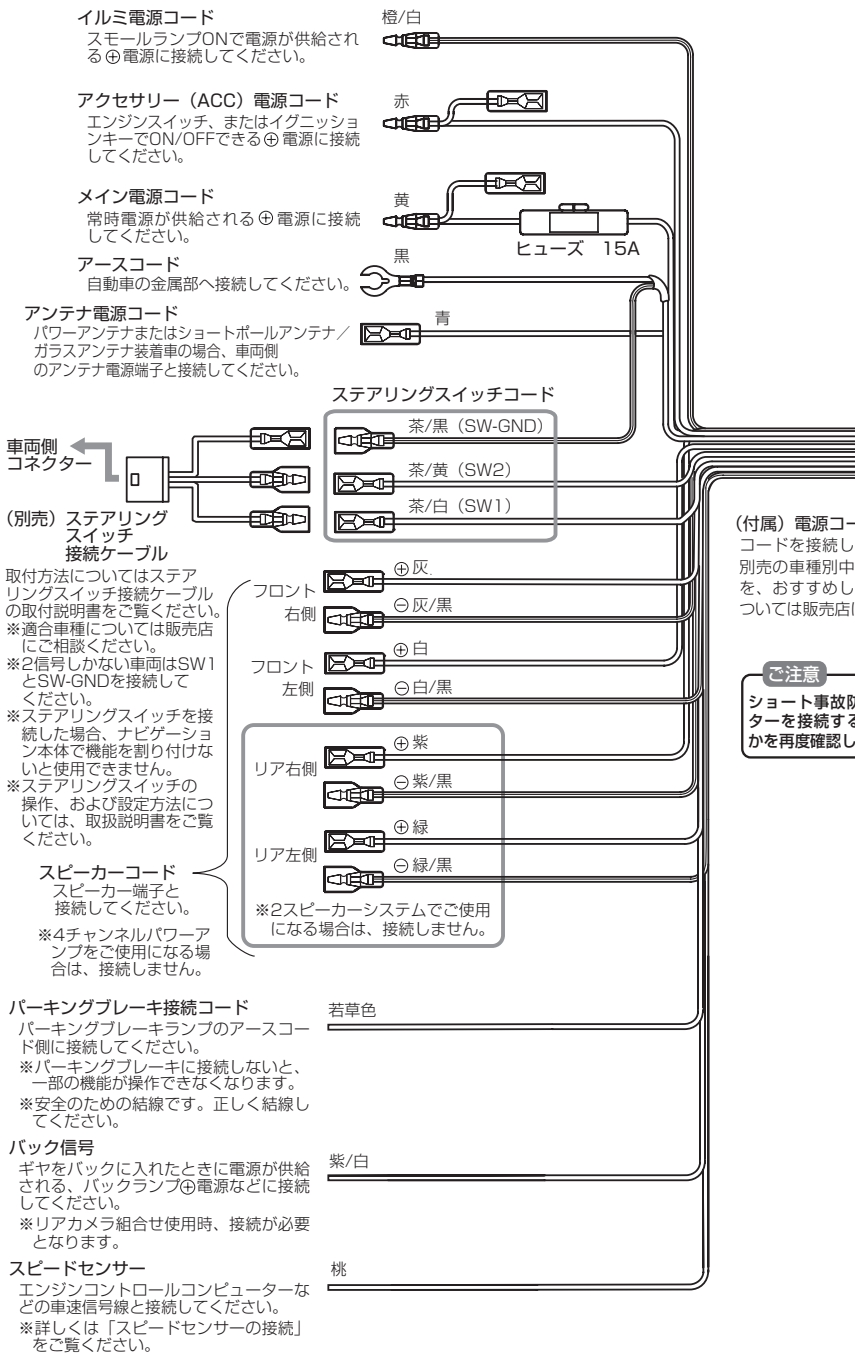


結線のしかた

- 警告**
- 取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。ショート事故による感電や、けがの原因となります。また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。
- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることをお確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。なお、作業は販売店に依頼してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用し、必ずヒューズを装着してください。

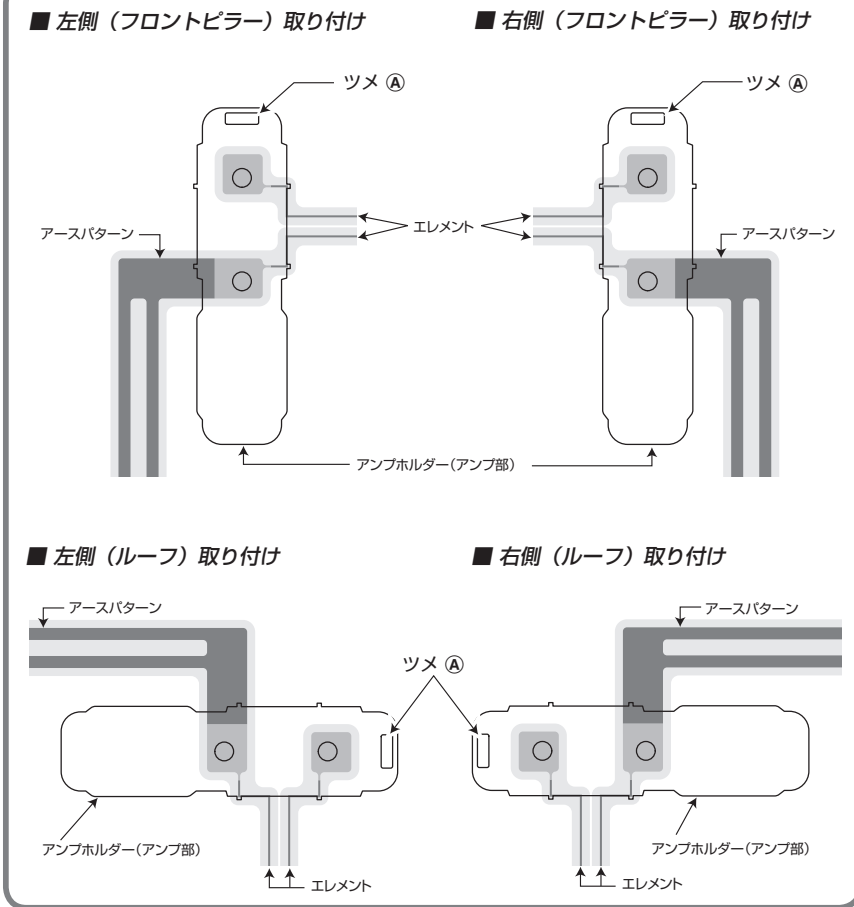
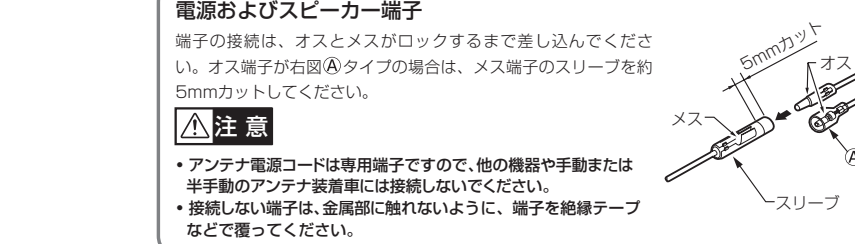


電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が右図Aタイプの場合は、メス端子のスリーブを約5mmカットしてください。

注意

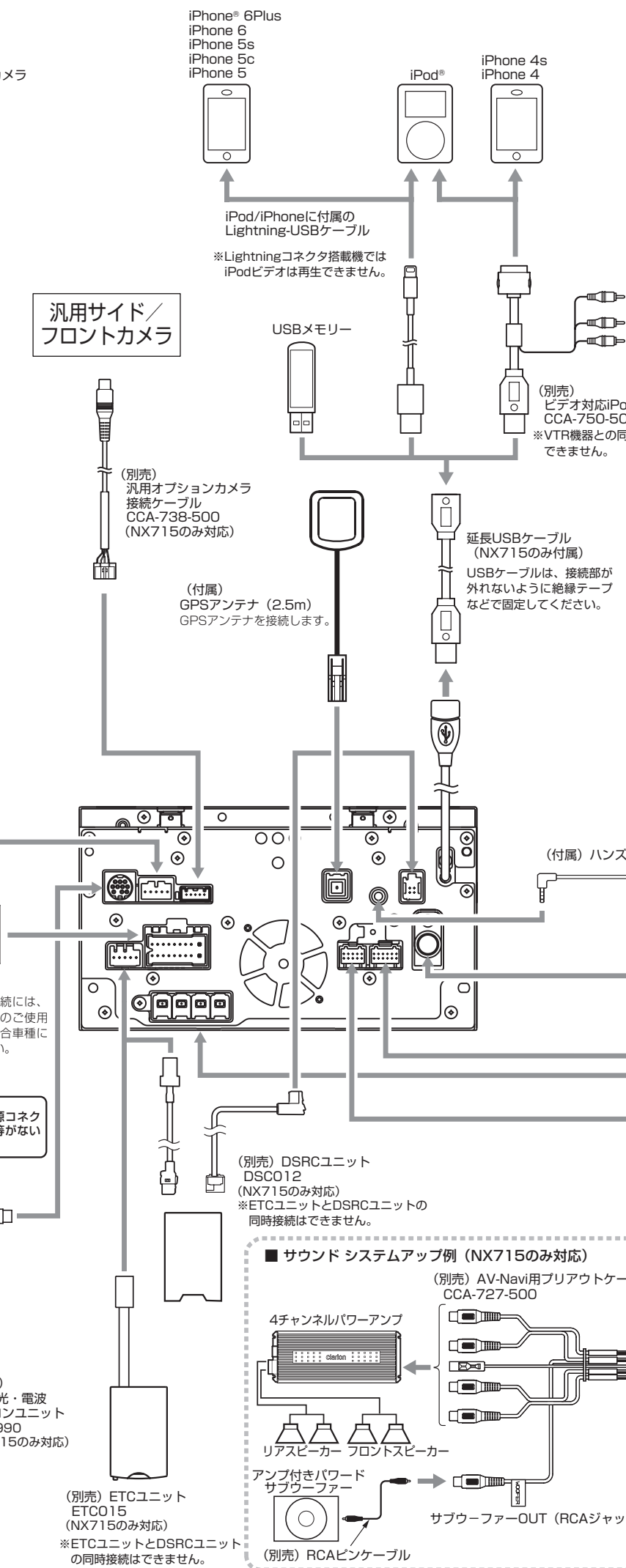
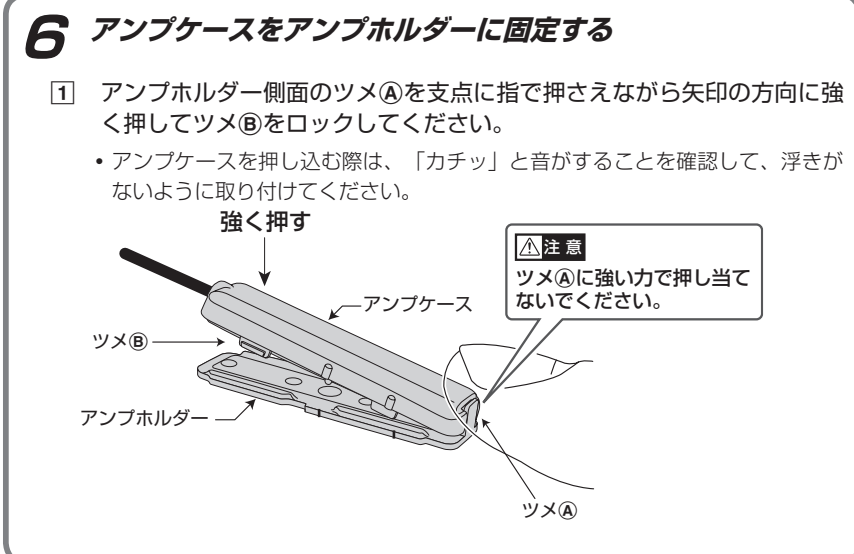
- ・アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- ・接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。



6 アンプケースをアンプホルダーに固定する

- 1 アンプホルダー側面のツメAを支点で押さえながら矢印の方向に強く押してツメBをロックしてください。

- ・アンプケースを押し込む際は、「カチッ」と音がすることを確認して、浮きがないように取り付けてください。



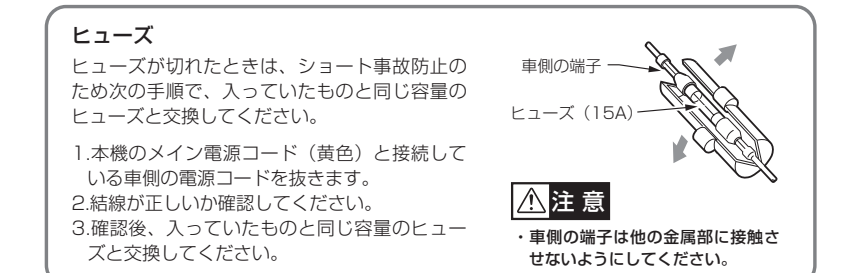
ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1. 本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2. 結線が正しいか確認してください。
3. 確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

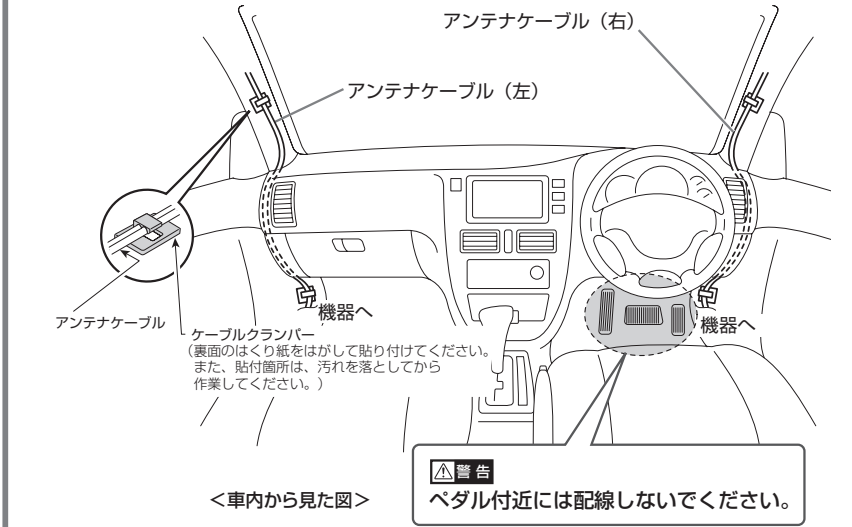
注意

- ・車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。



7 アンテナケーブルを固定する

- 1 ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。
- ・アンプ部に負荷がかからないように、アンプ部を押さえながら作業を行ってください。



警告

- ・フロントビラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- ・運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ・ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がφ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
- ・アンテナケーブルをビラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。（先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。）

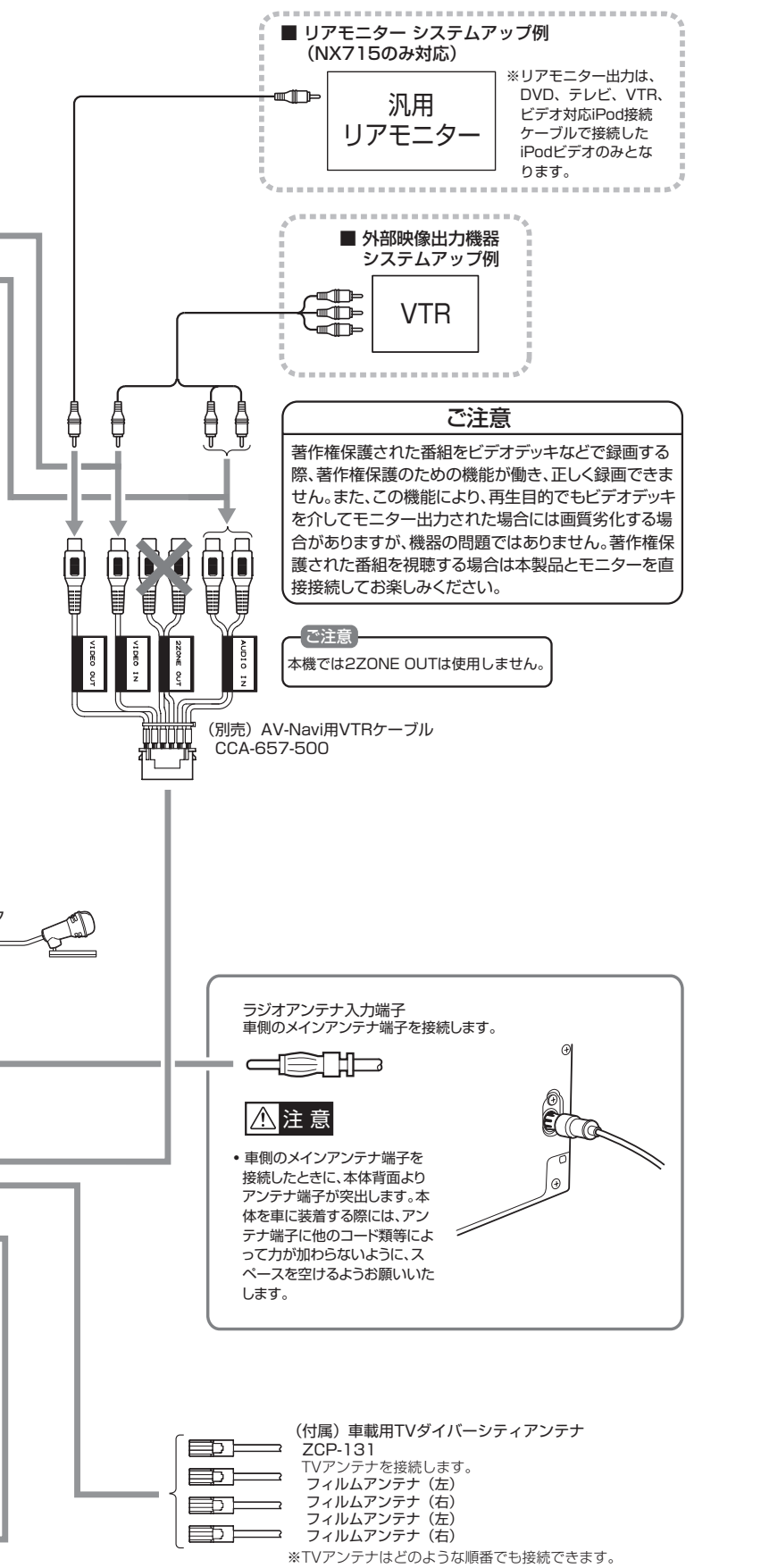
注意

ペダル付近には配線しないでください。

8 アンテナ端子を接続する

- 1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。
- ・「結線のしかた」をご覧ください。正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

- ご注意**
- ・アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
 - ・お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。



パーキングブレーキ接続結線例

注意

- ・配線コネクタを使用する場合、車両側電線の太さを十分確認のうえ接続してください。適合電線以外で使用するとは接続不良や断線のおそれがあります。

接続については、販売店にご依頼、またはご相談ください。

